

SSHを通して

2年理科女子(米沢一中出身)

植物が紅葉するのはなぜ?という質問に教科書は答えてくれなかった。この疑問を解明するため私達紅葉班は、先輩の研究を引き継ぎ、研究を始めた。しかし、意見を出し合い工夫して実験を行っても失敗で終わることが多く、私達は常に挫折寸前だった。さらに生物の実験は生き物を扱うため時間がかり、部活の時間を削ったり夜遅くまで学校に残ったりした。先生方をはじめとする様々な方々にご指導をいただき、実験が成功してデータが取れた時は、達成感で疲労が吹き飛んだ。

結局、私たちは生徒課題研究発表会で最優秀賞に選ばれた。この賞を目指し、それぞれ必死に研究を進めてきた理科の人達が、悔しさを滲ませながらもおめでとうと言ってくれたことが何よりも嬉しかった。研究は粘り強い人にしかできない。私達はこの課題研究を通して多くのことを学んだ。この経験が人生で役に立たないはずがない。



SSH校内生徒研究発表会



伝えること

1年女子(米沢三中出身)

私達一年生は、FSで学んだ内容をポスターにまとめて発表しました。約二時間の講義の内容から大切な情報を取捨選択し、いかに工夫してポスターとして見やすい形で伝えるか。非常に難しい作業に私達は沢山頭を悩ませました。先生方からいただいたアドバイスのもと、自信を持って発表できるポスターが出来上がりました。また、ポスターだけでなく、話し方も重要なポイントでした。

例えば、今回私達は「相手に伝えること」を一番に考えていました。文字でも、言葉でも、聞いてくれる相手に自分の考えを伝えるにはどうしたら良いのか、それを必死に考えたことが今回の活動を通しての一番大きな学びだったのではないかと思います。

発表後、審査員の先生方から様々なアドバイスをいただきました。これ以上に活かしていけるよう精進したいと思います。



平成27年2月11日、本校記念講堂及び体育館を会場にSSH校内生徒研究発表会が開催された。1年生全員は通年で学んできた学校設定教科・科目「異分野融合サイエンス(FS)」コース別講義・研修での学習内容をまとめ、ポスターを作成し、発表した。発表手法にもグループ毎に創意工夫がなされ、自身が興味・関心を持って学んだことを、みんなにも理解して欲しいという気持ちが伝わる内容となった。2年生理数科生徒は通年で行った研究内容について口頭発表を行った。

東北地区

SSH指定校発表会を終えて

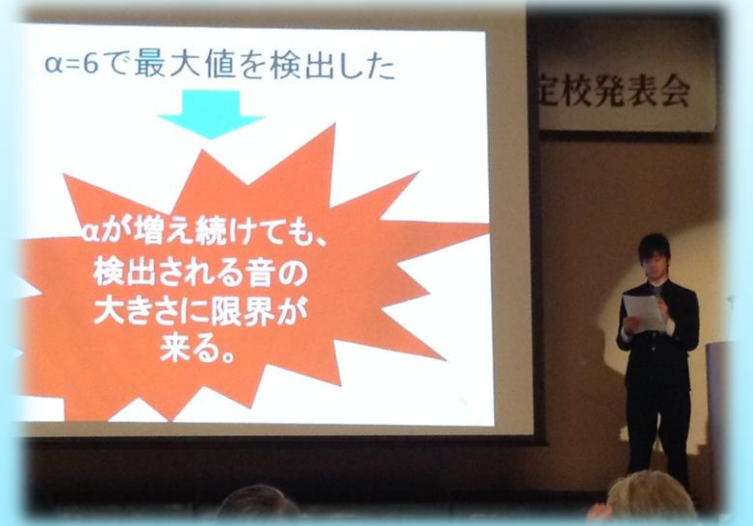
2年理科男子(米沢三中出身)

米沢興譲館からは、口頭発表3人、ポスター発表3人の計6人で、岩手県花巻市で行われた東北地区SSH指定校発表会に参加してきました。

口頭発表、ポスター発表ともに、大学レベルの研究を行っていた学校や、すべて英語で発表を行っていた学校もあり、レベルの高さを痛感しました。また、弁才に長けていたり、発表スライドが見やすかったりと、私たちが学ぶべきところが多くありました。

他の学校の生徒や大学教授との交流や大学教授の講演といった、発表以外にも多くの催しがあり、知識はもちろんのこと、物事をあらゆる角度から見つめる力もついたと思います。

私たちは残念ながら賞に選ばれませんでした。大きく成長できた経験だったと強く感じました。



$\alpha=6$ で最大値を検出した

